

みずほCustomer Desk Report 2017/11/08 号(As of 2017/11/07)

【昨日の市況概要】

					公示仲値	113.73
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	113.77	1.1612	132.12	0.9978	1.3174	0.7686
SYD-NY High	114.34	1.1616	132.40	1.0019	1.3178	0.7701
SYD-NY Low	113.70	1.1553	131.85	0.9974	1.3109	0.7628
NY 5:00 PM	114.01	1.1585	132.08	1.0002	1.3169	0.7646
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			6.88/7.23	△25RR	0.518	Yen Call Over
NY DOW	23,557.23	8.81	債券市場	日本2年債	-0.1800	▲0.1bp
NASDAQ	6,767.78	▲18.65		日本10年債	0.0320	0.8bp
S&P	2,590.64	▲0.49		米国2年債	1.6289	0.8bp
日経平均	22,937.60	389.25		米国5年債	1.9884	0.5bp
TOPIX	1,813.29	20.63		米国10年債	2.3145	▲0.2bp
シカゴ日経先物	22,880.00	285.00		独10年債	0.3270	▲0.9bp
ロンドンFT	7,513.11	▲49.17		英10年債	1.2310	▲2.5bp
DAX	13,379.27	▲89.52		豪10年債	2.5820	1.2bp
ハンセン指数	28,994.34	397.54	為替市況	USD/CNH	6.6410	0.0159
上海総合	3,413.58	25.40		ドルインデックス	94.92	0.16
USDJPY 3M Vol	7.85	▲0.07%	商品市況	CRB指数	191.847	▲0.72
USDJPY 6M Vol	8.52	▲0.11%		NY金	1,275.80	▲5.80
EURJPY 3M Vol	7.15	▲0.12%		WTI	57.20	▲0.15
EURJPY 6M Vol	8.26	▲0.21%		Dubai Spot	61.90	1.50

東京	東京時間のドル円は113.77レベルでオープン。113円台後半での狭いレンジ内での推移が続いた後、小幅に上昇する展開となり113.90近辺まで上昇。日経平均株価がバブル崩壊後の高値を更新する堅調推移となると、ドル円も連れ高となり一時114.02まで上昇。しかし、その後は目立った材料がない中で動意に乏しい推移となり、113.99レベルで海外へ渡った。豪ドルは対ドルで0.7686レベルでオープン。RBA理事会では市場予想通り政策金利の据え置きが決定された。声明文の内容も概ね前回分を踏襲する内容となったものの、一部ではハ派シフトするとの思惑もあったからか、発表後に豪ドル買いが進行し一時0.7701まで上昇。しかし、すぐに反落に転じ上昇幅を縮小する展開となり、発表前の水準を割れて下落。0.7680レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は113.99レベルでオープン。序盤はじり高推移となり、114.34まで上昇。しかし、特段の重要イベントも控えていない中、この水準では利益確定のドル売りが優勢となる。韓国を訪問中のトランプ米大統領が、対北朝鮮の軍事オプションを示唆したことも相俟って、ドル円は114.06まで売られ、114.18レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3169レベルでオープン。英9月住宅価格が前月比0.3%の上昇を示し、予想の0.2%を上回ったものの、上値重く推移。1.3125まで売られ、1.3133レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は114.18レベルでオープン。朝方は114.29まで上昇する場面もあったが、海外時間高値の114.34が意識されたことや、高く寄り付いた米株が税制改革を見極める動きから金融セクターを中心に反落したこと等から下落に転じた。前日急騰したWTI原油が利益確定等を背景に上値重く推移する動きや、冴えない米金利を受けてドル円114円を割り込み113.82まで下落。午後は式典でイン議長の挨拶が行われたが、金融政策についての発言はなく、FRB幹部らに倫理的な行動をとるよう求める内容等が見られた。ドル円は113.90付近での推移が続く。114.01レベルでクローズした。なお、日中はクォールズFRB副議長から「金融規制の見直しは最優先事項」との発言が伝わったが、市場の反応は限定的となった。一方ユーロドルは1.1565レベルでNYオープン。米金利低下を受けてドル売り優勢の展開となる中、ユーロドルは1.1592まで上昇。しかし1.16台に戻すことは無く、その後は1.15台後半での推移が続く。1.1585レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 濱・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
11月7日	12:30	豪	RBA理事会 政策金利発表	-	1.50%	1.50%
	16:00	独	鉱工業生産(前月比/前年比)	9月	-1.6%/3.6%	-0.9%/4.5%
	19:00	欧	小売売上高(前月比/前年比)	9月	0.7%/3.7%	0.6%/2.8%
11月8日	2:35	米	クォールズ次期FRB副議長 講演	-	-	-

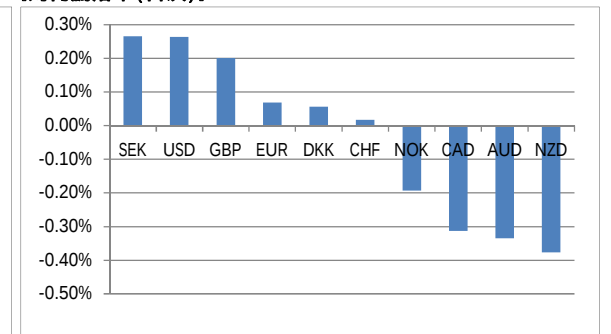
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
11月8日	-	中	貿易収支	10月	\$39.10B	\$28.61B
	-	中	輸出/輸入(前年比)	10月	7.1%/17.0%	8.1%/18.6%
	21:30	米	MBA住宅ローン申請指数	-	-	-2.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.80-114.30	1.1560-1.1630	131.80-132.60

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場は、ドルインデックスではドル高が進むも、ドル円相場ではやや下落。米国時間の序盤はドル買いの展開が見られるものの、その後は円買い・ドル売り優勢となった。新規取引材料は乏しい中、米税制改革に対する不透明感から米長期金利が低下し、ドル円は113円台に再び下落。一方、ユーロは対ドルで小幅下落し、前回10/26のECBを受けてつけた直近安値を更新し、一時1.1560を割り込む展開。加えてここ数日目立った上昇をみせてきた原油相場などの商品相場が昨日は一旦下落したことから、資源国通貨は総じてドルに対して下落したため、ドルインデックスは上昇する結果となった。本日のドル円は引き続き方向感に欠ける展開を予想。今週は主要な経済指標の発表もなく、ドル円は次の材料を待ちながら114円を挟んで推移しそうだ。